

●家庭では

「男は仕事、女は家庭」と思い込んだり、決めつけていませんか？

これからは、男女ともに積極的に家事や子育てなどに、関わっていきましょう。



●地域では

住んでいる地域をよりよくするためにはどうしたらよいでしょうか。

男性も女性も、一緒に話し合っ、自分たちでできることから始めましょう。



●職場では？

パイロットには男、キャビンアテンダントには女が向いている、と思いませんか？

今は男だから、女だからといってできない仕事はありません。

仕事と生活がよいバランスを保ちながら、男性も女性も子育てをしながら働き続けることができるように工夫する企業が増えています。



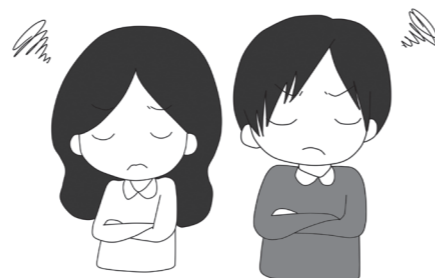
素敵な関係をきずけていますか なくそうデートDV

人と人との関係で大切なこと。それは「自分のことを大切にすること、それと同じくらい「相手のことも大切にすること。みなさんは、普段から心がけていることですね。

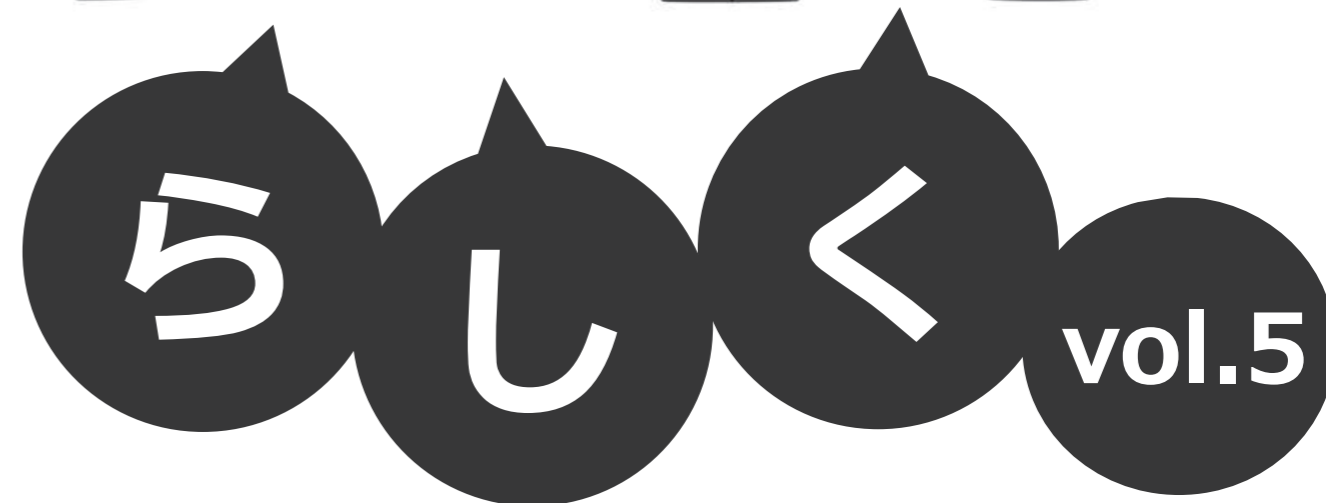
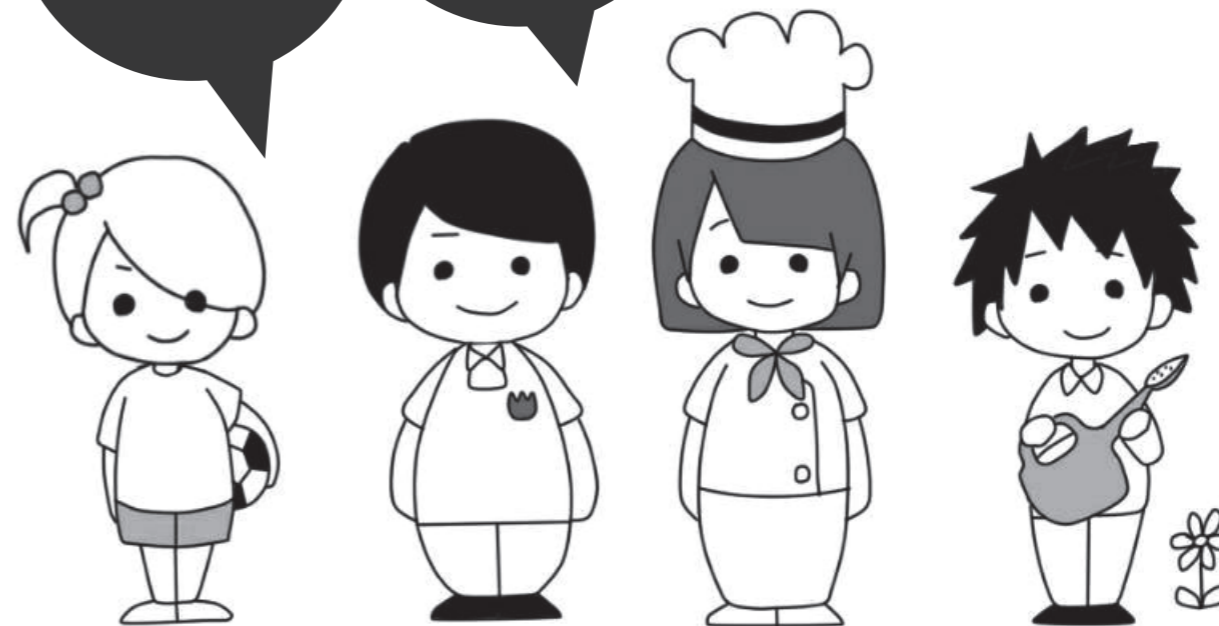
でも、「好きな人」との関係で、こんなことはありませんか？

例えば、自分の気持ちを無理やり押し付けたり、他の友達との付き合いを邪魔したり、携帯電話を勝手にチェックしたり…

これでは「素敵な関係」とは言えませんね。



自分の気持ちを大切にしながら、相手の気持ちを尊重することで、「好きな人」との、そしてあなたの周りのすべての人との素敵な関係をきずいていきましょう。



<作成>

「自分らしく Vol.5」は、下記の学生のみなさんと協働で作成しました。

愛知県立大学学生出版会のみなさん

愛知淑徳大学 文学部国文学科

家崎麻代さん、太田裕子さん、伊神桃子さん、石井かおりさん

<編集>長久手市男女共同参画審議会

<発行>2015年(平成27年)4月

長久手市役所くらし文化部たつせがある課

〒480-1196 長久手市岩作城の内60番地の1

TEL 0561-56-0602 FAX 0561-63-2100

HP <http://www.city.nagakute.lg.jp/index.html>

だんじょきょうどうさんかく

「男女共同参画」ということばを聞いたことがありますか？

性別にかかわらず、みんなが自分の個性と能力を発揮できる社会が、男女共同参画社会です。

みなさんにとっては「そんなの当たり前！」ですね。

でも気がつかないうちに、「オトコ」だから、「オンナ」だからという理由で、自分のやりたいことや好きなことを我慢したり、選択の幅を狭めたりしていませんか。

一人ひとりが性別にかかわらず自分の夢や希望を広げ、お互いに仲良く助け合って生きていくことができる社会を実現するために、一緒に「男女共同参画」について考えてみましょう。

Q この仕事を目指したきっかけは？

大学生の時、調理器具のデモンストレーションのアルバイトで自分がすすめた商品を買ってもらえたことがとても嬉しく、また面白かったので、多くのお客様に接することができる流通業界を選択しました。

Q 仕事内容は？

売上金やレジのお金を管理する金銭管理、お給料の支払いや誰がどこで働くかを決めたりする人事管理をしています。

他にも、お店の設備や安全管理、商品の入出荷など、たくさんの仕事があります。

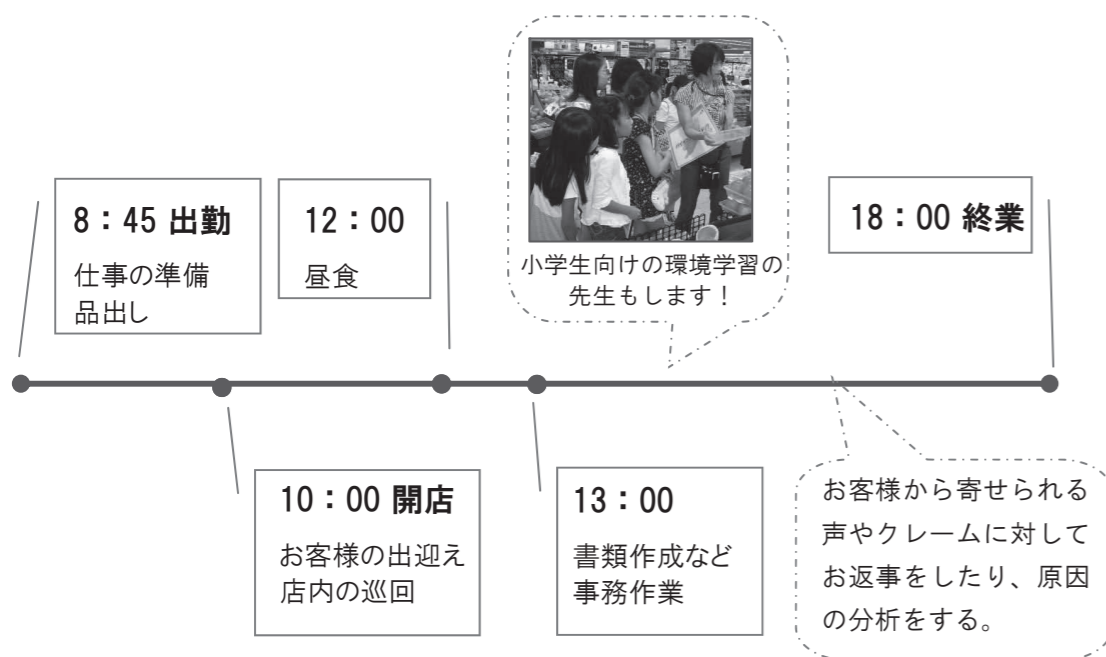
Q やりがいを感じることは？

一番は、来店されるお客様に「ありがとう」と言ってもらえた時です。また、指導した後輩が、笑顔で接客しているのを見ると、本当に嬉しく思います。成長した姿は、誇らしいです。

Q 生活と仕事を両立するためには？

自分の生活の状況に応じて、仕事と生活のバランスを取ることです。

20代のときは仕事が楽しくて、仕事とプライベートは一緒のような生活でした。30代で結婚、出産してからは、仕事とプライベートを分けて考えるようになりました。子育てもひと段落した今は、休日に趣味のランニングを楽しんだりしています。



\\インタビューより //

恥をかくのが嫌で、臆病な私ですが、自分が成長するために大切なのは、失敗しないようにすることではなく、失敗をして、その原因を自分で考え、乗り越えていくことなのだ気付きました。

ユニー株式会社 アピタ長久手店
業務副店長
やまだ ゆみこ
山田 由美子 さん



失敗を恐れず
チャレンジし続けていくことが成長のカギ！

社会福祉法人 日本介助犬協会
訓練部 副主任
えんどう だいすけ
遠藤 大輔 さん



なりたい仕事に出会うために
挫折しても、失敗しても、あきらめない！

Q この仕事を目指したきっかけは？

小さい頃から、自分にしかできない仕事がしたいと考えていました。実際は挫折の連続で、それでも自分にしかできない仕事がしたい、と強く思った時に、介助犬協会が愛知に施設を建設するというニュースを見て、やってみようと思いました。

Q 仕事内容は？

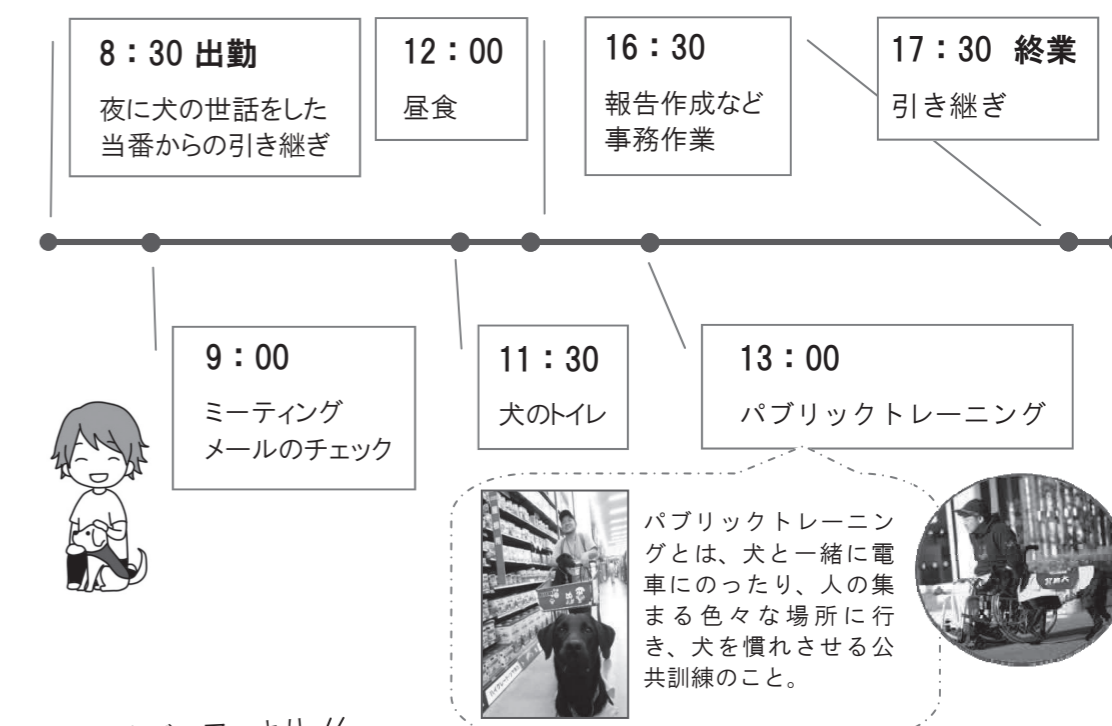
主には介助犬の育成と、障がい者の支援です。この仕事は皆さんから見て犬の訓練というイメージが強いかもしれませんが、僕たちの仕事は、犬の訓練も担当しますし、障がい者の方の相談にのるといったこともやっています。

Q やりがいを感じることは？

接している障がい者の方の人生に、ちょっとでも関われるということです。介助犬と生活している方が、初めて介助犬と外に出て一番に「空がこんなに青かったとは思わなかった」という話をしてくれた時、この仕事をやってよかったと、すごく感じました。

Q 生活と仕事を両立するためには？

自分の時間をしっかり作ることを大切にしています。介護や福祉に関わっている人たちは、すごく熱意があり、仕事に集中するあまり、自分の時間を持ちづらいところがあります。だから、仕事の目標・計画をきちんと決めて行動することが必要だと思います。



\\インタビューより //

「人の人生」に関わることができる仕事は、とても素敵だと感じました。私も周りから必要とされる人になれるように、粘り強く頑張りたいと思います！